

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.1

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43894 |

C

36

秘

15日 12月7日

総理の打会 43.12.7 米島友

12月7日午前10時より2時迄 総理との
打会を行つた。出席者 総理 大塚

得利吉房長友 本村新長友 次友 米
島田局長 北米澤長

1. 総理より 旧東の安全の土地の件は
基地の何故必要かか 一考要を要する

通達の結果 基地が弱くなることは困る
のではないか。との趣旨の発言あり

2. 「旧東を安全に格納の安全」は「旧東及び
旧東を安全に格納の安全」と表現する等「沖

港の基地は 朝鮮公使館の土地に旧東の領
土を使わせる」と云ふことより「旧東の安全

の土地は必要」と云ふ言の根拠が必要なりと

の指指あり

3. 泡いど 「愛知大正院の件」別添2
「沖港の基地の地位はどうか」を朗読

第一項に付 総理より「その通り」と強
いことあり。第二項以下は泡いどは特定

用語は泡いどはコメントはなかつたが全
作として反好なく。泡いど「資料」を

朗読。「後の発言から、いさよと」資料を
語らうと云ふ。

4. 米島友の泡いどは。大塚より米島友と
懇談に着手すること。泡いど米島友の

一時米島友充分強すと。泡いどは
ソコ大塚は泡いどを派遣する(米島

友の泡いど)可成り強くと云ふこと

韓升希大に訪米 布告に拘りなく日
米関係全般を是れやると、その

5月外務省に於いては 米債約に 米債と
結合して 実情を 固めるとは 考へるに

先づ 返還時期の 月達を つけ、 米債約の 形は 前
次 やつて 行けば よからう、 其の 考へあり

米債の 返に するに 是れ 米債の 地位に 決
定する 旨を 示し、 米債の 返に 決める

之は 考へあり と 見らるる 旨 報告より
把握し、 整理し 考へて 置く。

5. 日本 整理より 米債 返に するに 米債の PRの
必要 (一人に だけ 返す と あり、 返す 米債 返す

返す 米債 返す 米債 返す) 米債 返す 米債 返す
米債 返す 米債 返す 米債 返す 米債 返す

を 米債の 返に 米債の 返に 米債の 返に
米債の 返に 米債の 返に 米債の 返に